

14. 21-583



1200501162636

21

583

業務成績報告書

昭和七年度

高知縣種畜場長岡分場編



始



寄贈

昭和七年度

業務成績報告書

内務
8.7.11
正省
10本

高知縣種畜場長岡分場

14.24-583

昭和七年度業務成績報告書

第一章 總說

一、沿革

明治三十五年高知縣立農事試驗場ハ家禽改良普及ヲ圖ル爲名古屋種ヲ一雄二雌ヲ購入飼養シ其ノ種卵ノ配付ヲ開始シタルガ續テ明治三十七年九月種豚ヨークシャ、パークシャ、谷頭ノ三種ノ飼育ヲ始メ同三十八年ヨリ四十四年マデ仔豚ノ配付ヲ行ヒ來レリ是本縣ニ於ケル鶏豚改良普及事業ノ嚆矢トス

其後多少事業ニ變遷アリシモ明治四十四年ヨリ孵卵器ニ依ル家禽ノ孵化育雛ヲ行ヒ一層汎ク種禽ノ配付ヲ爲シ來リシガ大正十年度ニハ孵化育雛室同十一年度ニハ種禽舍中雛舍ヲ改築シテ農事試驗場家禽部事業ヲ擴張シ白色レグホーン種横斑ブリマウスロツク種土佐九斤種ノ三種ノ普及獎勵ニ努ツ、アリタリ然ルニ近年農家ノ副業トシテ斯業發展著シキモノアリテ到底從來ノ規模ヲ以テシテハ充分ナル成績ヲ擧ゲルコト困難ナリシヲ以テ大正十二年通常縣會ニ於テ新ニ高知縣種畜場設立ノ件附議可決セラレ大正十三年四月一日農事試驗場ノ一部ヲ劃シ本場ノ設置ヲ見タリ而シテ同年四月場長以下職員任命セラレ新ニ事務室飼料室豚舍ヲ建設シ孵卵育雛室種禽舍中雛舍ハ農事試驗場ヨリ保管轉換セラレタリ

次テ大正十四年五月十二日高知縣種畜場ハ高岡郡東又村ニ移轉シ右ト同時ニ長岡郡長岡村ノ舊位置ニ新ニ高知縣種畜場長岡分場ヲ設置セラレタリ然ルニ同年秋高知鐵道ガ省線後免驛ニ至ルノ連絡線路ヲ建設スルニ當リ種畜場敷地ノ一部ヲ通過スルコト、ナリ移轉ノ止ムナキニ至リ大正十五年一月其ノ工ヲ起シ同年三月現在ノ縣道ニ沿ヒタル農事試驗場ノ南部ニ移轉ヲ了シ以テ今日ニ至レリ

二、位置並ニ用地

本場ハ高知市ノ東ニ距ル約三里省線後免驛ノ東約二丁ニシテ長岡郡長岡村大字東崎地内ニアリ縣立農事試驗



塲ト隣接シ其ノ用地六百參拾四坪トス

三、營 造 物

營造物中主ナルモノ、種別棟數坪數ハ左ノ如シ

種 別	棟 數	坪 數		摘 要
		室 内	室 外	
事 務 室	一	八	二	木造、セメント瓦葺
宿 直 室	一	三	〇	
牧 夫 所	一	五	〇	木造セメント瓦葺コンクリート床
解 卵 室	一	六	四	
育 雛 室	一	四	二	全 全
中 雛 舍	一	四	二	木造トタン葺コンクリート床
種 禽 舍	一	六	三	舊豚舎改造コンクリート床
全 飼 料 調 理 場	一	四	三	木造セメント瓦葺コンクリート床
倉 庫	一	三	〇	總コンクリート造
堆 肥 舍	一	六	〇	

第二章 事業

第一 事業ノ概況
本年度ニ於テ施行セル主ナル事業項目左ノ如シ

- 一、種鶏ノ購入
- 一、種鶏ノ蕃殖並育成
- 一、種雛種鶏種卵ノ拂下
- 一、産卵能力調査
- 一、孵化
- 一、養鶏ニ關スル講習講話實地指導及質疑應答
- 一、共進會品評會審査

第二 養 鶏

本縣ニ於ケル養鶏業ハ農業ノ主要副業ノ一ニシテ近時卵肉ノ需要著シク増加シ殊ニ本縣ハ阪神地方ニ於ケル生鶏卵ノ需要ニ對スル重要ナル供給地ニシテ之レガ改良増殖ヲ圖ルハ農村振興ノ一助タルベキヲ以テ當場ニ優良種鶏蕃殖飼育ヲ行ヒ種鶏種雛種卵ヲ希望者ニ拂下斯業ノ發達ニ資スルモノアリタリ

一、種鶏ノ購入

種 類	雌	雄	計	購 入 先
白色レグホーン	二〇	五	二五	愛知縣榎本種禽場
全	二〇	六	二六	農林省播磨種鶏場
全	四	一	五	全上
全	一	一	二	全上

ロートアイランドレット

計

四五

一三

五八

四

二、種鶏現在表 (昭和八年三月三十一日)

種	類	雌	雄	計	産	地
白色レグホーン		四八五	一一一	五九六	宮城縣南條種禽場 本縣産	
全		五八五	一一一	六九六	千葉縣小杉種禽場	
全		六〇〇	一一一	七一一	愛知縣小柳津種禽場	
全		六〇〇	一一一	七一一	全榎本種禽場	
全		六〇〇	一一一	七一一	農林省畜産試験場	
全		六〇〇	一一一	七一一	農林省播磨種鶏場	
全		六〇〇	一一一	七一一	全上	
全		六〇〇	一一一	七一一	全上	
横班ブリマウスロツク		一〇〇	一一一	二一一	全上	
横班ブリマウスロツク		一〇〇	一一一	二一一	本縣産	
ロッドアイラントレット		三五	一一一	一四六	全上	
ロッドアイラントレット		三五	一一一	一四六	本縣産	
土佐九斤		四	一一一	一一五	本縣産	
計		一九一	三四	二二五		

備考 目下育成中ノモノ雄四〇羽雌五〇羽アリ

三、種卵拂下成績

郡市別	白色レグホーン	横班ブリマウス	ロッドアイラン	土佐九斤	計
高知市	五〇	一〇	五〇	一〇	一二〇
安藝郡	二〇〇	二〇	一五〇	五〇	二三五
香美郡	七二〇	三〇	四〇	七〇	八四〇
長岡郡	八〇五	一五〇	一三〇	七〇	一、一五五
土佐郡	八二	二〇	二〇	一〇	一三二
吾川郡	七五	一	一〇	一〇	八五
高岡郡	五五	一	二〇	一	八五
幡多郡	三五	二〇	三〇	一	八五
合計	二、〇二二	二六〇	三二五	一四〇	二、七三二

四、種鶏雛拂下成績

郡市別	白色レグホーン	横班ブリマウス	ロッドアイラン	土佐九斤	計
高知市	二四五	二〇	三〇	〇	二九五
安藝郡	四二〇	一五	三〇	〇	四七五
香美郡	八三〇	三〇	八〇	二〇	九六〇
長岡郡	九一〇	五五	四〇	一五	一、〇二〇
合計	二、四〇五	一〇〇	一四〇	三五	二、七〇〇

五

舍内ニハ常ニ敷藁ヲ適度ニ撒布シテ運動ヲ促シ夏季ハ日覆用ニ柵外ニ系瓜ト桐アカシヤ等ヲ栽植シテ盛夏ノ清涼ニ努メ常ニ換氣ニ注意シ時々大消毒ヲ行ヒ病鶏ヲ末前ニ防ギ保健ニ努メタリ

九、職員出張

用務	回数	數	日	數
講習講話用務	1	1		15
指導用務	1	1		32
品評會用務	2	0		36
調查	1	5		27
打合せ出席計	6	6		21

第三章 事務

一、經費

昭和七年度歳出經常部決算

科目	決算額	豫算額	増減	附記
種畜場長岡分場費	五、三六〇、〇〇〇	六、三六六、〇〇〇	一、〇〇五、九七〇	雑給へ一、二二二圓ヲ流用ス
給料	一、五四七、〇〇〇	二、四六四、〇〇〇	九一六、九七〇	雑費へ四〇圓ヲ流用ス
諸雇給	六、六八〇、〇〇〇	七、四〇〇、〇〇〇	七一六、〇〇〇	

雜備雜	備品	消耗品	圖書印刷	通信搬	飼料	種禽購入	建築繕	雜費
七八三、〇〇〇	四五〇、〇〇〇	一五九、〇〇〇	二四〇、〇〇〇	九五〇、〇〇〇	一、四五四、〇〇〇	二九二、〇〇〇	二二〇、〇〇〇	二七二、〇〇〇
七六〇、〇〇〇	五六〇、〇〇〇	一九八、〇〇〇	二九〇、〇〇〇	一八〇、〇〇〇	一、四五四、〇〇〇	三三四、〇〇〇	二二〇、〇〇〇	二三三、〇〇〇
五七〇〇〇		一一〇〇〇	三九〇〇〇	二三〇〇〇	三三〇〇〇			四〇〇〇〇
								技術員給料ヨリ一、二二二圓流用ス
								諸雇給ヨリ四〇圓流用ス

二、七年度購入飼料

種別	前和度ヨリ繰越	購入	受	計	拂	差引	殘
數	二一、〇〇〇	二七五、〇〇〇	二七五、〇〇〇	二九五、〇〇〇	二九五、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
玉米	三、二〇〇	五〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	五三、二〇〇	五三、二〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇
玉蜀黍	二五、〇〇〇	一、一〇〇、〇〇〇	一、一〇〇、〇〇〇	一、二五〇、〇〇〇	一、二一〇、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇
大豆	一三、〇〇〇	八五〇、〇〇〇	八五〇、〇〇〇	八六三、〇〇〇	八五〇、〇〇〇	一三、〇〇〇	一三、〇〇〇
大麦	二、一〇〇	一一、〇〇〇	一一、〇〇〇	一四、一〇〇	一四、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
小麦	一、二〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三九、二〇〇	三六、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
小豆	二、三〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	一四、三〇〇	一四、〇〇〇	三〇〇	三〇〇

枇	五三、〇〇〇 <small>匁</small>	八二〇、〇〇〇 <small>匁</small>	八七三、〇〇〇 <small>匁</small>	八七〇、〇〇〇 <small>匁</small>	三、〇〇〇 <small>匁</small>
魚	三五、〇〇〇	二五〇、〇〇〇	二八五、〇〇〇	二八〇、〇〇〇	五、〇〇〇
大	二五、〇〇〇	一五〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	一
貝			一七五、〇〇〇	一七〇、〇〇〇	五、〇〇〇

右ノ外青菜二千五百貫ヲ栽培使用セリ
三、職員及雇員（昭和八年三月末日）

任命年月日	職名	氏名	備考
昭和五年二月二十一日	場長技師	立川 義夫	兼務
昭和八年二月二十七日	技師	關 雄吉	兼務
昭和五年二月二十一日	主事	沼 一龜	兼務
昭和七年四月三十日	主事補心得	福田 增穂	兼務
大正十三年四月一日	助手	吉川 儀太郎	兼務

四、文書取扱件數 三七五
五、參觀人員 八二
六、印刷物ノ配付 五、三〇〇人

昭和六年度業務報告
初生雜雌雄鑑別法
七、七年度氣象 一五〇〇

月別	天	曇	氣	雨	午前十時	最高溫度	最低溫度	降水量
四月	一七	〇	三	六	一五、七	一八、六	七、四	一六、〇
五月	一五	一	四	二	二一、一	二三、四	一四、二	二七、四
六月	三	三	二	一	二四、二	二六、一	一八、四	二四、五
七月	三	五	三	三	二八、五	三〇、七	二二、三	三〇、五
八月	〇	一	七	二	二四、五	二八、三	一九、六	一九、一
九月	三	二	三	七	一九、二	二二、二	一一、二	四七、一
十月	七	三	三	三	一四、八	一七、七	七、九	五〇、四
十一月	九	八	二	五	一〇、〇	一三、六	三、九	五八、八
十二月	八	一	二	六	六、二	九、四	五、四	五〇、七
合計	二〇	一七	四	三	一七、五	二〇、二	一一、五	一六九、三

附 錄

高知縣種畜場分場處務規程

- 第一條 高知縣種畜分場ハ畜産ノ改良發達ヲ圖ルタメ左ノ業務ヲ行フ
- 一、種畜種禽ノ蕃殖並育成
 - 二、種畜ノ配付並種付
 - 三、種畜及種卵ノ配付
 - 四、畜産ニ關スル講習、講話、實地指導、傳習及質問應答
 - 五、畜産ニ關スル試驗調査
 - 六、其ノ他畜産ノ改良發達ニ必要ナル事項
- 第二條 種畜分場ニ左ノ職員ヲ置ク
- | |
|-------|
| 分 場 長 |
| 技 師 |
| 技 手 |
| 主 事 補 |
- 第三條 分場長ハ技師ヲ以テ之ニ充ツ
- 第四條 分場長ハ知事ノ指揮監督ヲ承ケ場務ヲ統理ス
- 第五條 技師及技手ハ分場長ノ指揮ヲ承ケ場職ニ従事ス
- 第六條 主事補ハ分場長ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス
- 第七條 分場長事故アルトキハ上席職員其ノ職務ヲ代理ス

- 第八條 左ノ事項ハ知事ノ認可ヲ受クヘシ
- 一、毎年度施行スヘキ事業計劃
 - 二、諸規程ノ制定若ハ改廢
 - 三、右ノ外重要若ハ異例ニ屬ス事項
- 第九條 左ノ事項ハ分場長ニ委任シ處理セシム但第一號及第五號ノ事項ハ處理後直ニ之ヲ知事ニ報告スヘシ
- 一、所屬職員ノ事務分掌
 - 二、分場長七日以内ノ縣内出張
 - 三、所屬職員ノ縣内出張
 - 四、所屬職員ノ除服出仕及賜暇
 - 五、雇員以上ノ採用及其ノ罷免
 - 六、豫算令達ノ範圍内ニ於ケル工事ノ執行物品ノ購入借入但シ建物ノ模様替ハ豫メ知事ノ認可ヲ受クヘシ
 - 七、生産物及不用品ノ處分
 - 八、經費豫算中節ノ金額五拾圓未滿ノ流用
 - 九、前各號ノ外輕易ナル事項
- 第十條 分場長ハ左ノ各號中第一號ハ年度終了後一ヶ月以内ニ第二號ハ其ノ都度知事ニ報告スヘシ
- 一、毎年度ノ業務功程
 - 二、試驗及調査報告書ノ發行
- 第十一條 分場長ハ處分細則ヲ設ケ知事ノ認可ヲ受クヘシ

高知縣種畜分場、種鶏、種雛、種卵拂下規程 (昭和六年五月七日改正)

第一條 本縣内ニ於テ鶏ノ改良蕃殖ヲ目的トスルモノニ對シ本規定ニ依リ種鶏、種雛及ヒ種卵ノ拂下ヲ行フ
 第二條 拂下ヲ行フ種鶏種雛及種卵ノ種類年齢數量並價格左ノ如シ

種別	種 雛			種 雛			種 卵		
	年 齡	一 回 ノ 數 量	價 格 (一羽ニ付)	年 齡	一 回 ノ 數 量	價 格 (一羽ニ付)	年 齡	一 回 ノ 數 量	價 格 (一羽ニ付)
白色レグホーン	孵化後百日内外	全	一 番 以 上 壹 圓 以 上	孵化後十日内外	全	十 羽 以 上 拾 五 錢 以 上	全	全	六 錢 以 上
黄班ブリマウスロツク	全	全	全	全	全	全	全	全	全
ロードアイランドレツト	全	全	全	全	全	全	全	全	全
土佐九斤	全	全	全	全	全	全	全	全	全

第三條 種鶏種雛及種卵ノ拂下ハ一人一回ニ付二種類以内トス
 學校、農會、養鶏組合其ノ他公益ヲ目的トスル者ニ對シテハ前項ノ制限ニ依ラサルコトヲ得

第四條 種鶏種雛及種卵ノ拂下ヲ受ケムトスル者ハ別記様式ノ願書ヲ種畜分場長ニ差出スヘシ

第五條 種畜分場長拂下ヲ許可シタルトキハ拂下クベキ種鶏種雛又ハ種卵ノ種類、數量、價格及引渡期限ヲ出願者ニ通知スルモノトス

第六條 前條ノ通知ヲ受ケタル者ハ代金ヲ納入シ現品ノ引渡ヲ受クヘシ

第七條 第四條ノ出願ニシテ六ヶ月以内ニ第五條ノ通知ヲ受ケサルモノハ其ノ出願ノ効力ヲ失フモノトス

第八條 拂受人指定ノ期限迄ニ引渡ヲ受ケサルトキハ拂下ノ効力ヲ失フモノトス
 前項ノ場合ニ於テハ既ニ納付シタル代金ハ之ヲ返還セサルコトアルヘシ

第九條 拂受人ハ現品ノ引渡ヲ受ケタル後ニ於テ疾病斃死又ハ損傷等ヲ事由トシテ拂下代金ノ減額免除又ハ損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得ス

第十條 拂下クヘキ種鶏種雛又ハ種卵ニシテ斃死疾病其ノ他ノ事由ニ因リ引渡ヲ爲スコト能ハサルニ至リタル場合ハ既ニ納付シタル代金ハ拂受人ノ請求ニ依リ之ヲ返還ス拂受人ハ前項引渡不能ニ因ル損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得ス

第十一條 本規定ニ依リ拂下ヲ受ケタル種鶏又ハ種雛ハ滿一ケ年間飼養スル義務アルモノトス
 但シ特別ノ事由ニ依リ前項ノ期間内ニ於テ他ニ賣却若ハ讓渡セムトスル場合ハ其ノ事由ヲ具シ種畜場分場長ノ承認ヲ受クヘシ

第十二條 拂受人ハ其ノ種鶏種雛及種卵ノ孵化蕃殖發育狀況及飼育管理ニ關スル諮問ニ對シ速ニ答申スヘシ

種 雛 (種 雛、種 卵) 拂 下 願 式

一、種鶏何種(雌雄、種雛)何種何羽又ハ種卵何種何個
 右拂下規程ヲ遵守可致候間御拂下相成度此段及御願候也

年 月 日

何々養鶏組合又ハ住所
 職 業 氏 名 印

高知縣種畜場長岡分場長殿

長尾鶏保存獎勵規程

一八

- 第一條 長尾鶏保存獎勵ノ爲毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ本規程ニ依リ獎勵金ヲ交付ス
 - 第二條 獎勵金ハ本縣開設特種家禽品評會ニ於テ入賞セル長尾鶏中ヨリ選抜シテ之ヲ交付ス
 - 第三條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル長尾鶏ノ所有者ハ知事ノ認可ヲ受クルニアラサレハ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ一ケ年間長尾鶏ヲ賣却スルコトヲ得ス
 - 第四條 前條ノ期間中ニ於テ其長尾鶏斃死シタルトキハ直チニ本廳ニ届出ツヘシ
 - 第五條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル長尾鶏ヲ第三條ニ依ル期間内ニ縣外ニ賣却シ又ハ飼養管理ノ方法不適當ト認ムルトキハ既ニ交付シタル獎勵金ノ一部或ハ全部ヲ返納セシムルコトアルヘシ
- 附 則
- 第六條 本規程ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

土佐長尾鶏組合獎勵規程

- 第一條 土佐長尾鶏ノ改良増殖保存ヲ目的トスル組合ノ設置並ニ既設組合ノ發達ヲ獎勵スル爲本規程ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ獎勵金ヲ交付ス
- 第二條 獎勵金ハ土佐長尾鶏飼育者十名以上ヲ以テ組織スル組合ニシテ左ノ各號ニ該當セル組合ヲ新設スル場合又ハ既設組合ニ對シ之ヲ交付ス
 - 一、一人當リ飼育羽數成鶏二番以上ナルコト
 - 二、一組合三羽以上ノ白藤、白色、褐色ノ各雄鶏ヲ保育スルコト
- 第三條 獎勵金ノ交付ヲ受ケムトスルモノハ申請書ニ左ノ各號ノ書類ヲ添付シ前年度三月末日迄ニ知事ニ差出スヘシ

- 一、飼育方針ノ概要
 - 二、事業計畫
 - 三、組合員並役職員ノ氏名
 - 四、經費豫算書
- 第四條 獎勵金ハ事業費ノ支出ニ對シ二分ノ一以内トシ事業成績調査ノ上之ヲ定ム
 - 第五條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル組合ハ左ノ各號ヲ遵守スヘシ
 - 一、第三條各號ノ書類ニ記載セル事項ヲ變更セムトスルトキハ知事ノ承認ヲ受クヘシ
 - 二、組合員ニシテ成鶏ヲ組合員外ニ讓渡セムトスルトキハ豫メ知事ノ承認ヲ受クヘシ
 - 三、毎事業年度終了後一ケ月以内ニ經費精算書並事業成績ヲ知事ニ報告スヘシ
 - 四、前各號ノ外知事ニ於テ特ニ必要ト認メ指示スル事項
 - 第六條 本規程ニ違背シ其ノ他不都合アリト認ムルトキハ獎勵金交付ノ指令ヲ取消シ若ハ既ニ交付ツタル獎勵金ノ全部又ハ一部ノ返還ヲ命スルコトアルヘシ
 - 第七條 本規程ニ依リ知事ニ差出スヘキ書類ハ所在市町村役場ヲ經由スヘシ

附 則

- 第八條 本規程ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 第九條 本規程第三條ニ依ル申請書提出期日ハ昭和五年度ニ限り昭和六年三月二十日迄トス

142
583

142
583

終